

令和7年度 会報

埼玉県連合教育研究会

令和7年10月10日
埼玉県連合教育研究会
責任者 浅見 正 史
事務局 〒330-0804
さいたま市大宮区堀の内町1-99
さいたま市立大宮東中学校内
印刷 関東図書株式会社



埼玉県連合教育研究会
会長 浅見 正 史

研究会組織で学ぶ

会員の皆様には、日ごろより埼玉県連合教育研究会の諸事業にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。本研究会は、本年度、61年目を迎え、人であれば還暦後の1年目となります。会員の皆様には、改めて、埼玉県連合教育研究会及び地域教育研究団体並びに教科等研究団体の一員として、組織体としての研究と修養を重ねることの意義を再確認する1年になればと思っています。

我々、教育公務員には、教育公務員特例法第21条の「その職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない」と規定されています。この「研究と修養」のために最も必要なものとは一体何でしょうか。現在、SNSやインターネットの普及により、研究や修養に必要な国や県などの最新情報や著名人の講話内容や学習指導に関する動画などをダイレクトに手にすることができます。また、生成AI技術の進歩により、必要書類の作成や校正、事務処理の効率化、アイデアの発出をはじめ、人の悩み相談にまで活用できるようになってきています。このような学びが今後、ますます増えた場合、「子どもたちに生き方を学ばせる教師」としての本質的な人と人との関わり合いが希薄化してしまうのではないかと、危惧されてなりません。

私は、研究と修養のためには、組織での教師同士の対話的で深い学びがますます重要になってくると思っています。地域教育研究団体における各研究部での具体的な学び合いや教科等研究団体での組織的な研究活動の中で、触発され、感動し、実際の授業で改善しようとする試みにより、教師としての力量が高まるものと思っています。

会員の皆様には、人と人との生の学び合いの場である地域教育研究団体や教科等研究団体の中での先生同士の関わり合いを大切にしながら、本研究会及び各研究団体の諸事業に積極的に参加いただきたいと思います。

本年度も、学習指導要領の趣旨を十分に踏まえ、各研究団体及び各学校の創意工夫とともに、以下の「活動方針と重点・努力点」に基づく研究への取組も併せてお願いいたします。

令和7年度 活動方針と重点・努力点

<活 動 方 針>

- 1 未来を切り拓く教育の創造を目指して、着実な教育研究活動を継続し、埼玉県公立小・中学校、義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校の教育の充実と発展に邁進する。
- 2 学習指導要領と埼玉県及びさいたま市等の教育行政施策等を踏まえて、各教育研究団体の特性を生かし、真摯に教育研究活動を推進し、「教育立県・埼玉」の実現に邁進する。
- 3 国や世界の状況を適切にとらえ、持続可能な社会の創り手の育成と日本社会に根差したウェルビーイングの向上を目指して、質の高い教育研究活動を推進し、その実現に邁進する。

<重 点 ・ 努 力 点>

- 1 確かな学力の育成を図るため、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた「デジタル」と「リアル」の最適な組み合わせによる教育研究活動を一層推進する。
- 2 学校・家庭・地域の連携のもと、豊かな心と健やかな体を育成し、たくましく生きる力を育む教育研究活動を一層推進する。
- 3 「令和の日本型学校教育」を担う、学び続ける教師の実現に向けた組織的・継続的な教育研究活動を一層推進する。

各教育研究団体におかれましては、本年度も、本会報の研究主題や研究内容に向けての自主的・創造的・組織的な日々の研究活動をより一層充実していただけるものと期待しております。

結びに、埼玉県教育委員会・さいたま市教育委員会並びに日本教育公務員弘済会埼玉支部の皆様には、ご指導、ご支援をいただき心より御礼申し上げ、あいさついたします。

目 次

- | | | | |
|--------------------------|---|------------------------|----|
| ・会長あいさつ、活動方針と重点・努力点…………… | 1 | ・地域教育研究団体の取組…………… | 7 |
| ・令和7年度役員・評議員等…………… | 2 | ・事務局だより等…………… | 11 |
| ・教科等研究団体等の研究主題・研究内容…………… | 3 | ・令和8年度研究論文募集要領（案）…………… | 12 |

令和7年度 埼玉県連合教育研究会 役員・評議員等名簿

1. 本部役員等

役 職	氏 名	所 属	役 職	氏 名	所 属
会 長	浅見 正史	さいたま・大宮東中	理事(国 語)	伊 藤 秀一	狭山・入間川小
副会長(さいたま)	茂呂 宏幸	さいたま・桜木小	〃(理 科)	山 浦 麻紀	さいたま・岸中
〃 (南部)	萩谷 健	上尾・大石中	〃(特別活動)	新島 穰二	深谷・深谷西小
〃 (西部)	廣井 賢司	富士見・本郷中	〃(学校視察)	飯 島 学	所沢・清進小
〃 (北部)	齋藤久美子	熊谷・久下小	〃(校長経験)	山本 智広	川口・在家中
〃 (東部)	馬場 重弘	吉川・栄小	監 事	石井 勝博	富士見・諏訪小
常任理事(さいたま)	酒井 和浩	さいたま・八王子中	〃	西澤 淳	熊谷・吉岡中
〃 (南部)	加藤 智美	川口・芝富士小	〃	青木 元秀	越谷・川柳小
〃 (南部)	赤羽 広美	桶川・川田谷小	編集委員長	越智 宏明	さいたま・大原中
〃 (西部入間)	堀 謙作	所沢・安松小	編集委員	笠原 雅之	埼玉大学・附属小
〃 (西部比企)	吉沢 猛	ときがわ・玉川中	〃	大塚 悠希	埼玉大学・附属中
〃 (北部秩父)	宮本 典行	秩父・秩父第一中	〃	石川 和宏	桶川・桶川小
〃 (北部児玉)	黒崎 暢徳	本庄・中央小	〃	大島 綾子	蕨・南小
〃 (北部大里)	強瀬 哲朗	深谷・桜ヶ丘小	事務局長	渡辺 俊行	さいたま・大宮東中
〃 (東部北埼玉)	富澤 敏夫	羽生・羽生北小	幹 事	関 正人	さいたま・大宮東中
〃 (東部埼玉葛)	砂賀 正史	八潮・柳之宮小	〃	中村 涼穂	さいたま・大宮東中
			〃	森田 康市	さいたま・大宮東中

2. 教科等研究団体

No.	研究団体名	会長名	所 属
1	埼玉県国語教育研究会	伊藤 秀一	狭山・入間川小
2	埼玉県書写教育研究会	三上 陽照	狭山・御狩場小
3	埼玉県社会科教育研究会	高田信太郎	さいたま・仲本小
4	埼玉県算数数学教育研究会	林 義典	鴻巣・赤見台第一
5	埼玉県理科教育研究会	山浦 麻紀	さいたま・岸中
6	埼玉県音楽教育連盟	清水 一司	さいたま・土合中
7	埼玉県美術教育連盟	山田 一文	戸田・戸田中
8	埼玉県保健体育研究会	駒崎 弘匡	川口・舟戸小
9	埼玉県英語教育研究会	遠藤 敏恵	さいたま・原山中
10	埼玉県道德教育研究会	清水 良江	鴻巣・箕田小
11	埼玉県特別活動研究会	新島 穰二	深谷・深谷西小
12	埼玉県進路指導・キャリア教育研究会	堀川 博基	富士見・西中
13	埼玉県学校視察教育連絡協議会	飯島 学	所沢・清進小
14	埼玉県教育心理・教育相談研究会	小崎 賢司	越谷・南越谷小
15	埼玉県特別支援教育研究会	井上 弘江	幸手・長倉小
16	埼玉県学校図書館協議会	滝沢 慎	三郷・彦糸中
17	埼玉県中学校技術・家庭科教育研究会	山本 智広	川口・在家中
18	埼玉県小学校家庭科教育研究会	井上 千春	川口・戸塚南小
19	埼玉県生活科総合的な学習の時間教育研究会	藤田 恵子	所沢・山口小

3. 地域教育研究団体

旧事務所	No.	研究団体名	会長名	所 属	旧事務所	No.	研究団体名	会長名	所 属
南 部	1	埼玉大学教育学部附属小学校	石上 城行	埼玉大学・附属小	比 企	30	東松山市教育研究会	小笠原泰代	東松山・青鳥小
	2	埼玉大学教育学部附属中学校	関口 睦	埼玉大学・附属中		31	小川班教育研究会※2	船田真由美	小川・みどりが丘小
	3	さいたま市教育研究会	茂呂 宏幸	さいたま・桜木小		32	菅谷班教育研究会※3	神田 卓也	滑川・宮前小
	4	川口市教育研究会	加藤 智美	川口・芝富士小		33	玉川班教育研究会※4	吉沢 猛	ときがわ・玉川中
	5	草加市教育研究会	中田 順一	草加・氷川小		34	川島教育研究会	佐藤 香織	川島・つばさ小
	6	蕨市教育研究会	竹越 典子	蕨・塚越小		35	吉見教育研究会	山本 享	吉見・西が丘小
	7	戸田市教育研究会	山田 一文	戸田・戸田中	秩 父	36	秩父教育研究会※5	宮本 典行	秩父・秩父第一中
	8	志木市教育研究会	島村 直人	志木・志木第二中	児 玉	37	児玉郡本庄市教育研究会※6	黒崎 暢徳	本庄・中央小
	9	朝霞市教育研究会	唐松 善人	朝霞・朝霞第一中	大 里	38	熊谷市教育研究会	齋藤久美子	熊谷・久下小
	10	新座市教育研究会	保戸田雅之	新座・陣屋小		39	深谷市教育研究会	強瀬 哲朗	深谷・桜ヶ丘小
	11	和光市教育研究会	對馬 秀樹	和光・第五小		40	寄居町教育研究会	田中 義人	寄居・用土小
北 部	12	埼玉大学教育学部附属特別支援学校	石川 泰成	埼玉大・附属特別支援	北 埼	41	行田市教育研究会	平井 薫	行田・下忍小
	13	鴻巣市教育研究会	大澤 紀子	鴻巣・鴻巣北小		42	加須市教育研究会	二階堂朝光	加須・大桑小
	14	北本市教育研究会	草野 智広	北本・中丸小		43	羽生市教育研究会	富澤 敏夫	羽生・羽生北小
	15	上尾市教育研究会	赤羽 洋治	上尾・尾山台小	埼 葛	44	春日部市教育研究会	石川 和明	春日部・緑中
	16	桶川市教育研究会	赤羽 広美	桶川・川田谷小		45	越谷市教育研究会	青木 元秀	越谷・川柳小
	17	伊奈町教育研究会	宮澤 好春	伊奈・小針北小		46	久喜市教育研究会	青山 里美	久喜・久喜小
入 間	18	川越市教育研究会	堀口 雪子	川越・大東西小		47	三郷市教育研究会	渡部 順一	三郷・戸ヶ崎小
	19	所沢市教育研究会	堀 謙作	所沢・安松小		48	蓮田市教育研究会	飯野 正章	蓮田・平野小
	20	飯能市教育研究会	向澤 雅啓	飯能・原市場中		49	幸手市教育研究会	関根 渉	幸手・吉田小
	21	日高市教育研究会	利根川典正	日高・高麗小中		50	八潮市教育研究会	市川 真志	八潮・八潮中
	22	狭山市教育研究会	菅野 朝子	狭山・広瀬小		51	杉戸町教育研究会	村木 淑子	杉戸・西小
	23	入間市教育研究会	小田 誠	入間・西武小		52	吉川市教育研究会	伴野 忠	吉川・吉川中
	24	富士見市教育研究会	後藤 輝明	富士見・富士見台中		53	松伏町教育研究会	中山 達也	松伏・松伏第二小
	25	ふじみ野市教育研究会	石川 聖徳	ふじみ野・大井中		54	白岡市教育研究会	増田 陽一	白岡・篠津中
	26	坂戸市教育研究会	佐藤毅一郎	坂戸・片柳小		55	宮代町教育研究会	山口 隆夫	宮代・笠原小
	27	鶴ヶ島市教育研究会	田嶋 直美	鶴ヶ島・南中		入間地区連合教育研究会		安達 隆元	鶴ヶ島・新町小
	28	越生班教育研究会※1	峯岸 博美	毛呂山・川角中		埼玉連合教育研究会		砂賀 正史	八潮・柳之宮小
	29	三芳町教育研究会	林 武嗣	三芳・三芳中	<令和7年度 学校数 1,196校 会員数 30,811名>				

<令和7年度 学校数 1,196校 会員数 30,811名>

※1 越生班教育研究会【越生町・毛呂山町】

※2 小川班教育研究会【小川町・東秩父村】

※3 菅谷班教育研究会【滑川町・嵐山町】

※4 玉川班教育研究会【鳩山町・ときがわ町】

※5 秩父教育研究会【秩父市・横瀬町・小鹿野町・皆野町・長瀬町】

※6 児玉郡本庄市教育研究会【本庄市・上里町・美里町・神川町】

令和7年度

**教科等研究団体及び埼玉大学
教育学部附属小・中学校の
研究主題・研究内容
《21団体》****1. 国語教育**

埼玉県国語教育研究会

1 研究主題

「生活に生きて働く国語の能力の育成を
めざす授業の創造」

2 研究内容

学習指導要領の趣旨を生かし、基礎・基本の定着を図るとともに、興味・関心を生かした多様な言語活動を工夫し、児童生徒の学習意欲を高めるための実践的研究を行う。

また、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育むとともに、言語感覚を豊かにするための実践的研究を行う。

研究主題を具現化するために、言語環境をはじめ教材や教具、学習形態や学習方法、言語活動が豊かに整えられ、一人一人のよさを認め、伸ばしていこうとする国語教室こそ、児童生徒の自ら学ぶ意欲を高めることができるものと考え、これらの実践的研究と様々な事業を行う。

2. 書写教育

埼玉県書写教育研究会

1 研究主題

「書字文化を育む書写教育」

2 研究内容

授業力向上を目指す実践的研究と日常に資する技能向上研修を行う。

- (1) 研究協議会・講演会（4月 書写教育研修）
- (2) 実技研修会（8月 教職員の指導技術向上）
- (3) 授業研究会（11月 授業力向上）
- (4) 硬筆展・書きぞめ展の開催（6月・1月）
※ 両展とも規模を一部縮小して開催
- (5) 『研究集録』の発行（3月 研究成果の紙上発表）

3. 社会科教育

埼玉県社会科教育研究会

1 研究主題

- (小)「社会がわかり、社会にかかわる子供を育てる社会科学学習」
- (中)「よりよい社会の創り手を育てる社会科学学習」

2 研究内容

- (1) 理事研修会 日時：令和7年6月13日（金）
会場：別所沼会館ヘリテイジ浦和
- (2) 第51回ブロック別授業研究会
小学校5校、中学校5校
- (3) 第55回中学校基礎学力調査
- (4) 会誌 第47号
令和8年3月 埼玉研ホームページ公開予定

4. 算数・数学教育

埼玉県算数数学教育研究会

1 研究主題

「学ぶ楽しさを味わう算数数学の学習をめざして」

2 研究内容

学習指導要領の趣旨を踏まえ、教材研究を深め、指導内容の系統を明らかにし、数学的活動を重視した学習指導を展開する。

そのため、児童生徒の学習意欲を喚起し、数理的な処理のよさや数学的な見方・考え方のよさに気付かせ、算数・数学を活用できるよう学習過程や指導の工夫に努め、指導と評価の一体化を図る。

本年度は、昨年度に引き続き、オンライン対応のノウハウを活用し、各種授業研究会や研究発表大会を対面形式やハイブリッド形式でも実施する。

5. 理科教育

埼玉県理科教育研究会

1 研究主題

「子どもたちの多様な幸せ（Well-being）を
実現する理科教育」

2 研究内容

児童生徒が理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを行い、根拠に基づく結論を導き出す過程を通して、自然の事物・現象を主体的・科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する学習指導の研究及び実践を行っている。

また、子どもたちが、多様な幸せ（Well-being）を感じ、誰一人取り残されることなく、これからの社会の担い手を育成することを目指し、これからの理科授業がより魅力的なものとなる新しいアプローチを考え、実践していく。

- (1) 自ら問いを見いだす導入の工夫
- (2) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた工夫
- (3) ICTの効果的な活用

3 研究発表

第26回関東甲信越地区小学校理科教育研究大会
令和7年10月30日（木）・31日（金）
RaiBoC Hall（市民会館おおみや）
さいたま市立高砂小・浦和大里小・つばさ小学校

6. 音楽教育

埼玉県音楽教育連盟

1 研究主題

「アナログ×デジタルで進化（深化）する音楽
の授業における個別最適&協働的な学び」

2 研究内容

埼玉県内の学校では、児童生徒がICTを文房具として活用できる環境が整いつつある。音楽担当教員には、個別最適な学びと協働的な学びの充実のための鍵となるICTの活用について指導力を高め、音楽教育の質の向上につなげることが求められていると考えている。

そこで、本連盟では、

- (1) 児童生徒が主語となる音楽科の学びの実現
- (2) 音楽的な見方・考え方を働かせた深い学びの視点からの授業改善
- (3) 音楽科における Well-being を目指した柔軟なカリキュラム・マネジメント

の3点を研究の視点として主題に迫る研究を行っている。

3 研究発表

第67回関東甲信越音楽教育研究会埼玉大会
令和7年11月7日（金）戸田市文化会館等

7. 図画工作・美術教育

埼玉県美術教育連盟

1 研究主題

「造形教育の新天地！
ワイワイ埼玉 Artlearnitis（4年次）」

2 研究内容

- (1) 受け止めよう 子どもの心
- (2) 育てよう 確かな力
- (3) 深めよう 生き生き授業

3 今後に向けて

埼玉県造形教育研究大会は「創造体験研修会（Navi1）」と「授業実践研究会（Navi2）」に内容を分け、2年間で開催することとしている。

現在、次年度の研究大会（Navi1）に向けて研究部を中心に協議を進めている。

8. 保健体育教育

埼玉県保健体育研究会

1 研究主題

(小)「運動の特性や魅力に応じた楽しさや
喜びを味わうとともに、資質・能力を
バランスよく身に付ける授業の工夫」
「健康・安全に関する内容を実践的に
理解する保健教育の工夫」

(中)「3つの資質・能力をバランスよく育成する
保健体育指導の実践」

2 研究内容

(小)「器械運動系」「ボール運動系」「保健」
(中)「器械運動の特性に応じた効果的な学習指導の工夫」
「球技の特性に応じた効果的な学習指導の工夫」
「生涯を通じて心身の健康を保持増進するための
資質・能力を育てる保健教育の工夫」

9. 英語科教育

埼玉県英語教育研究会

1 研究主題

「21世紀を逞しく生き抜く人材の育成を
目指した英語教育
～自分のことばで自分の考えを他者に
伝えることのできる児童生徒の育成～」

2 研究内容

各地区の代表の教員による、英語の授業実践や学習指導等の研究発表や、それらに対する活発な意見交換を通して、教員の資質・能力の育成及び主題についての研究を深めたい。

また、日頃の学習指導の成果発表の場として、中学生を対象とした英語弁論大会を開催し、指導教員及び生徒の意識の高揚を図りたい。

10. 道徳教育

埼玉県道徳教育研究会

1 研究主題

「一人一人のよさや可能性を引き出す道徳教育」

2 研究内容

(1) 8月「夏季研修会」：理論研修や教材吟味等を行い、授業実践、指導方法改善について協議を行う。

また、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官の堀田 竜次 氏の講演会を実施し、理論と実践の研究を深める。

（参集型での、演習、講演等の全日研修）

(2) 10月「埼玉県道徳教育研究大会・ふじみ野大会」
：ふじみ野市立葦原中学校を会場に公開授業及び研究の概要説明、研究協議を行う。

その後、御指導を含め、埼玉県教育局義務教育指導課の道徳担当指導主事の講演を聴講し、道徳教育に係る研鑽を深める。

11. 特別活動

埼玉県特別活動研究会

1 研究主題

「持続可能な社会の創り手を育成する特別活動」

2 研究内容

昨年度から取り組んでいるこの研究主題に向けた2年目の取組となるのが、本年度の本会の研究活動である。

昨年度の研究で明らかになった成果と課題を踏まえ、

持続可能な社会の創り手を育成することができるようにするためにはどのようにしたらよいか、研究を進めている。

研究に当たっては、①「持続可能な社会の創り手を育成するための指導計画」、②「持続可能な社会の創り手を育成するための指導と評価の方法」の2点を中心としていく。

また、①専門委員研究協議会（年3回）、②定期総会・講演会、③夏季研究協議会、④研究集録発刊、⑤会報「特活」発刊（年3回）、⑥現地研修会（研究委嘱校研究発表会）などを通して、県内の特別活動の充実、発展を目指す。

12. 進路指導・キャリア教育

埼玉県進路指導・キャリア教育研究会

1 研究主題

「未来を見据え、主体的に生き抜く力を育てる
キャリア教育の推進 ～小中一貫を円滑に
進めるための協働的な取組を通して～」

2 研究内容

25地区進路指導・キャリア教育研究協議会を中心に本年度も継続的に研究を推進する。

その内容については、ここ数年、各校の研究の深化により、包括的性教育や企業との連携実践、特別支援教育での充実等その機能が高まっている。

また、「キャリア・パスポート」の授業での活用や「道徳での実践」、「進路選択の課題に応じた学習（サポート校や通信制への進学への対応、総合型入試対策、入学者選抜改善への対応等）」の取組も多くなっている。

13. 学校視聴覚教育

埼玉県学校視聴覚教育連絡協議会

《埼玉県学校視聴覚教育連盟》

1 研究主題

「主体的に活動する力を育む教育メディアの活用を目指して ～楽しく学ぶ、進んで学ぶ、互いに学ぶ～」

2 研究内容

教育メディアやICTを活用した学習を研究・展開し、児童生徒に自ら学ぶ力と主体的に問題を解決する力・情報活用能力を育成することを目的に活動している。

研究主題について、より効果的・効率的に他団体と連携や情報共有を行いながら研究を進めていく。

《埼玉県放送教育研究会》

1 研究主題

「共に学び、考え、次の時代を創る埼玉の放送教育～ひろがる つながる 深まる みんなと幸せになる～」

2 研究内容

日々の授業や研究活動を充実させ、放送の活用を推進し、授業研究会・全国大会、関東ブロック大会・放

送コンテスト等を通して授業研究等の成果を広く発信していく。

《埼玉県教育機器研究会》

※ 本年度休会

14. 教育心理・教育相談

埼玉県教育心理・教育相談研究会

1 研究主題

「通常の学級における発達障害児童生徒等の指導支援
～社会性を育むスキル教育の実践と定着～」

2 研究内容

- (1) 通常の学級等において、発達障害を有する児童生徒をどう理解し、指導支援していくか、先行事例に学び、研究を深め、実践事例等を県内に広める。
- (2) 社会性を育むスキル教育の実践と定着を図るため、各地区の事例や情報を収集し研究を進める。
- (3) 定例の理事会・専門委員会において、教育心理・教育相談の課題等について研究協議を行う。

15. 特別支援教育

埼玉県特別支援教育研究会

1 研究主題

「幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを踏まえ、自立と社会参加につながる指導・支援の充実を求めて」

2 研究内容

- (1) 幼児児童生徒一人一人の障害の状態及び発達の段階や特性等に応じた効果的な指導の在り方を追究する。
- (2) 発達障害のある幼児児童生徒をはじめ、学習や生活に特別な支援を必要とする子に対する指導の在り方を追究する。
- (3) 新しい時代の特別支援教育の諸課題に応じた教育について研究し、本県特別支援教育の実践を進展させるとともに、オンラインでの会議・研究協議会等も取り入れ、現代の働き方の中での合理的な研究会の在り方を創造する。

16. 学校図書館教育

埼玉県学校図書館協議会

1 研究主題

「豊かな心と確かな学びを育む学校図書館の創造
～主体的・対話的で深い学びを支える
学校図書館教育～」

2 研究内容

- (1) 研究
学習指導要領の趣旨に基づき、学校図書館に関する管理運営・利用指導・読書指導・地域連携を中心に、学校・家庭・地域（公立図書館等・図書ボランティア等）との連携を図り、学校のエデュケーションの展開に寄与する学校図書館を目指し研究を推進する。

(2) 事業

- ・集会 理事会、学校図書館研究大会
- ・協議 第1～2回研究協議会
- ・研究 学校図書館授業研究会
- ・表彰 読感文・読感画コンクール審査、表彰
- ・刊行 埼玉SLA会報、感想文・感想画集『真珠』
- ・広報 夏休み・冬休みの推薦図書案内

17. 技術・家庭科教育

埼玉県中学校技術・家庭科教育研究会

1 研究主題

「未来社会を切り拓くための資質・能力を
育む学習指導の研究」
～問題発見・課題解決学習と創造する学びを通して～

2 研究内容

これまでの実践をもとに、学習指導要領が示す資質・能力の育成に効果的な指導と、その評価の研究を継続している。

令和8年度開催予定の関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会埼玉大会の実施に向け、専門委員会を核に支部ごとに分担した研究内容について検討と実践・検証を行う。2月の教員研究発表会で国立教育政策研究所の指導をいただきつつ、県下全域で広く情報共有し、研究の方向や内容の確認と改善を図る。

18. 小学校家庭科教育

埼玉県小学校家庭科教育研究会

1 研究主題

「豊かな心と実践力を育み、未来を拓く家庭科教育
～学びをつなぎ、家庭生活をよりよく
しようと工夫し実践する児童の育成～」

2 研究内容

- (1) さいたま市立与野本町小学校において、第56回埼玉県小学校家庭科教育研究協議会を開催する。
- (2) 夏季研修会において、総合教育センター指導主事 石川 万記子 氏の講演会を開催する。
- (3) 埼玉県児童生徒発明創意くふう展を開催する。
- (4) 研究紀要の編集と発行をする。

19. 生活科・総合的な学習の時間教育

埼玉県生活科・総合的な学習の時間教育研究会

1 研究主題

「児童の気付きや概念的理解を質的に高める指導の工夫」

2 研究内容

生活科における気付きの質の高まり、総合的な学習の時間における概念形成について、考え方を整理する。

具体的な実践例を基に、気付きの質の高まりや概念的理解の高まりについて考察するとともに、児童生徒が変容したきっかけについて分析をし、教師の適切な支援についても整理する。

生活科、総合的な学習の時間の授業場면을類型化して、それぞれの場面で求められる気付きの質と概念的理解の高まりや、その評価についても整理し、児童の気付きや概念的理解を質的に高めるための指導方法について研究を進める。

20. 埼玉大学教育学部附属小学校

埼玉大学教育学部附属小学校

1 研究主題

「漸進する学び」(3年次)

2 研究内容

- (1) 第93回小学校教育研究協議会
令和7年10月14日(火)・15日(水)に開催する。
研究3年次として、各教科、健康教育において個人研究の授業公開、提案を行う。
- (2) 校内授業研究会
個人の研究主題を基に、学校及び教科の研究主題を踏まえ、授業を通して理論の検証を試み、全員で研究協議(質疑・グループ協議等)を行う。

21. 埼玉大学教育学部附属中学校

埼玉大学教育学部附属中学校

1 研究主題

「挑戦心を育む『令和の日本型学校教育』の実現」

2 研究内容

研究4年目となる本年度は、副題を「～学習者主体の授業が育む 未来への挑戦心～」とし、研究1年目の「個別最適な学びの充実」、研究2年目の「個別最適な学びと共同の往還」、研究3年目の「挑戦心を育む学習評価」に焦点を当てた実践研究を振り返り、成果と課題を明確にし、まとめを行った。

各教科の授業づくりにおいては、共通の視点として以下の三つの手立てを設定し実践を進めた。

- (1) 挑戦心を育む課題設定の工夫
- (2) 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- (3) 見通しと振り返りの充実

これら、三つの手立ては、量的調査を通して、学習者主体の授業の実現に有効であり、生徒の挑戦心の醸成につながったと確認できた。

また、挑戦心の向上に課題傾向がある生徒に対して、質的調査を通して、有効な手立てが含まれていたと示唆された。



EXPO 2025 大阪・関西万博
Main Facilities大屋根リング

令和7年度

地域教育研究団体の 取組 《15団体／55団体》

1. 蕨市教育研究会

会長 竹 越 典 子

本研究会は、小学校7校、中学校3校に在籍する292名の教職員で組織され、19の研究部で構成されている。

1 本研究会の目的

本会は、蕨市教職員の資質及び学校教育の向上を図ることを目的とする。

2 主な事業

- (1) 運営委員会（年間3回）
評議員会（年間2回）
いずれの委員会も書面で実施
- (2) 役員選考委員会（書面で実施）
- (3) 定期総会・各研究部会（分散開催）
- (4) 各研究部の活動（19部会）
 - ① 各研究部による研修会の開催
 - ② 11月 一斉研修会
研究部ごとに授業研究会・研究協議会を実施・参加
- (5) 『研究集録』の作成・発刊
各研究部の一年間の活動概要、成果及び課題をまとめ『研究集録』の発刊

2. 朝霞市教育研究会

会長 唐 松 善 人

本研究会は、朝霞市内小学校10校、中学校5校に在籍する560名の教職員で組織され、27の主任研修会等で構成されている。

1 本研究会の目的

公教育の理念に基づき、教育に関する研究の深化・進展を図り、会員相互の資質向上と朝霞市教育の振興を図ることを目的とする。

2 主な事業

- (1) 主任研修会・授業研究会・実技研修会
 - ① 教科等授業研究会
 - ② 実技研修会・講習会
 - ③ 教育に関する調査研究及び情報交換
- (2) 教育に関する研究委嘱・調査研究
- (3) 展覧会、音楽会、科学展、発表会等の開催

- ① 書きぞめ展、② 科学教育振興展覧会、③ 音楽鑑賞会、④ 小中学校図工・美術展、⑤ 英語弁論暗唱大会、⑥ 発明創意くふう展、⑦ 小学校陸上競技大会、⑧ 中学校体育大会、駅伝競走大会、⑨ 読書感想文コンクール、⑩ なかよし発表会・作品展等

3. 鴻巣市教育研究会

会長 大 澤 紀 子

本研究会は、鴻巣市内小学校16校、中学校8校に在籍する546名の教職員を会員とし、23の教科等の研究部で組織されている。

1 本研究会の目的

本研究会は、豊かな心をもち主体的・創造的に生きる児童生徒の育成を目指して、会員の着実な教育研究活動の実践を通し、市内小・中学校の教育の充実と発展に努め、質の高い教育研究活動を進める。

2 主な事業

- (1) 拡大理事会（総会）6月17日（火）書面決議
- (2) 各教科等第1回主任会 5月7日（水）・8日（木）
オンラインにて
- (3) 各研究部の主な活動
 - ① 授業研究会 ② 各種研修会
 - ③ 各種作品展、展覧会、音楽会、
小学校陸上競技大会、英語弁論大会等の運営
- (4) 鴻巣市教育研究実践発表会 11月6日（木）
本発表校：赤見台第一小学校、赤見台第二小学校、
鴻巣中学校
- (5) 中間授業研究会 1月～2月
中間発表校：鴻巣南小学校、共和小学校、
広田小学校、吹上中学校

4. 北本市教育研究会

会長 草 野 智 広

本研究会は、小学校7校・中学校4校で、会員数270名、20の研究部で構成されている。

1 本研究会の目的

本研究会は、日々の教育活動を組織的に充実させるとともに、教職員の資質・指導力の向上及び教育に関する諸課題を解決することを目的としている。

2 主な事業

- (1) 理事研究協議会
理事会、予算執行説明会、事業報告会、会計監査
- (2) 各教科等主任研修会
主任研修会、授業研究会、実技研修会、書きぞめ展、児童生徒科学展、児童生徒美術展、発明創意くふう展、読書感想文コンクール作品選考会、特別支援学級せいかつ発表会・合同作品展
- (3) 北本市教育研究大会

各部の授業研究会を同日開催し、会員が研修したい教科等の授業研究会に参加し、指導力の向上に努める場としている。

(4) 管外視察研修会（輪番制）

5. 狭山市教育研究会

会長 菅 野 朝 子

本研究会は、事務局を会長在任校に置き、小学校15校、中学校8校、幼稚園2園に在籍する616名の教職員で構成されている。

1 本研究会の目的

本研究会は、自主的、創造的な教育研究活動を推進して、職能の向上を図り、本市教育の振興を期することを目的とする。

2 主な事業

(1) 全体活動

- ① 定期総会 ② 理事（部長）研究協議会
- ③ 研究委嘱募集・研究発表会
・研究集録の校務支援システムへの登録
- ④ 夏季一斉研修会 ⑤ 全員研修会

(2) 各研究部活動（27研究部）

- ① 各教科・教科外等研究部研究協議会
・代表者会 ・現地研修会 ・授業研究会 ・実技研修会 ・テーマ別研修会 ・指導案検討会等
- ② 各教科・教科外等研究部の主な主催事業
・硬筆審査会、書きぞめ審査会 ・科学展審査会
・音楽会 ・図工美術作品展 ・体力向上講演会
・発明創意くふう展審査会 ・英語暗唱弁論大会等

6. 入間市教育研究会

会長 小 田 誠

本研究会は、小学校16校、中学校10校に在籍する663名の教職員、33部会で組織されている。

1 本研究会の目的

本会は、会員相互の研修と入間市教育の振興と充実を図ることを目的とする。

2 主な事業

(1) 定期総会及び教育講演会

- ・5月1日（木） 於：入間市産業文化センター
- ・演題 「探究と協働の学びのイノベーション その必要性と方略」
- ・講師 東京大学名誉教授 佐藤 学 氏

(2) 夏季教育講演会

- ・8月20日（水） 於：入間市産業文化センター
- ・演題 「入間市の教育の成果と未来」
- ・講師 入間市教育委員会教育長 中田 一平 氏

(3) 各研究部の主な活動

- ① 研究協議会、授業研究会、実技研修会
- ② 硬筆展、音楽会、美術展、書きぞめ展、発明創意くふう展、英語弁論大会、特別支援学級作品展
- ③ 入間地区学力調査、報告会

(4) 研究発表会

・11月7日（金） 於：研究委嘱校

7. 鶴ヶ島市教育研究会

会長 田 嶋 直 美

本研究会は、鶴ヶ島市内小学校8校、中学校5校に在籍する324名を会員とし、32の部会で組織されている。

1 本研究会の目的

本研究会は、会員の職能を向上し教育の振興を図ることを目的としている。

2 主な事業

(1) 定期総会及び教育講演会

4月30日（水）（オンライン開催）

教育講演会

演題 「探究型避難訓練で育む新しい時代の

資質・能力」

講師 慶応義塾大学環境情報学部准教授

大木 聖子 氏

(2) 各部の研究活動

主任研修会（研究協議会、授業研究会など）

主な事業

- ① 硬筆展 ② 科学展 ③ 発明創意くふう展
- ④ 読書感想文審査会 ⑤ なかよし作品展
- ⑥ 小中音楽祭 ⑦ 英語弁論大会

(3) 「研究会報」の作成

8. 吉見教育研究会

会長 山 本 享

吉見町教育大綱 基本理念

（吉見町教育行政の重点施策 基本理念）

「学びたいと思えるまちづくり」の実現に向けて

1 本研究会の目的

本研究会は、小学校6校、中学校1校に在籍する112名の教職員で組織され、17研究部会で構成されている。令和7年度の研究テーマを「主体的・対話的で深い学びの視点による教育活動の推進」と設定し、市内各学校の教育指導の充実、教職員の指導力・資質の向上と吉見町の教育の発展に貢献することを目的とする。

2 主な事業

- (1) 教科・領域等主任研修会 年1回 4月中旬開催
- (2) 新旧常任理事会 年1回 4月下旬開催

- (3) 総会 年1回 5月中旬開催
- (4) 常任理事会 年2回 6月中旬・3月上旬開催
- (5) 保幼小連絡会 年1回 8月初旬開催
- (6) 授業研究会 各教科・領域等
- (7) 教育講演会 年1回 8月下旬開催

演題 「人は変わる、社会は変えられる」

講師 中村 すえこ 氏

- (8) 学力向上研究推進校への視察及び報告会 年1回

9. 秩父教育研究会

会長 宮 本 典 行

本研究会は、秩父地区の小学校19校、中学校12校の会員数584名、28の研究部で組織されている。

1 本研究会の目的

本会は、本会教職員の資質の向上を図り、地域教育の振興に寄与することを目的とする。

2 主な事業

- (1) 総会 令和7年4月30日(水)
代議員による組織づくり・事業計画作成
- (2) 理事研修会
第1回 令和7年7月4日(金)
第2回 令和8年3月5日(木)
- (3) 各研究部の活動
令和7年5月～令和8年2月
各研究部主体による研修会・授業研究会等を実施
- (4) 教育講演会 令和7年8月1日(金)
○演題 「夢を叶える3つの魔法」
～未来を生き抜く力を育むために～
○講師 元ウォルト・ディズニー・カンパニー
シニアプロデューサー 大畠 崇央 氏

10. 児玉郡本庄市教育研究会

会長 黒 崎 暢 徳

本研究会は、本庄市、上里町、美里町、神川町の1市3町(児玉郡本庄市)の小学校23校、中学校8校に勤務する教職員731名で組織され、30の教科・領域等の研究会で構成されている。

1 本研究会の目的

本研究会は、児玉郡本庄市内における各教育研究会の活動を通して、児玉郡本庄市の小・中学校の教育振興を図ることを目的としている。

2 主な事業

- (1) 新旧本部役員研修会 4月11日(金)
- (2) 組織づくり 4月15日(火)・16日(水)
- (3) 理事研修会及び総会 5月20日(火)
- (4) 部長会議 7月8日(火)
- (5) 教育講演会 7月30日(水)
- (6) 本部役員研修会 2月上旬

- (7) 研究集録発行 3月上旬
- (8) その他 授業研究会、美術展、書きぞめ展、科学展等を運営

11. 熊谷市教育研究会

会長 齋 藤 久 美 子

本研究会は、熊谷市内の小学校26校、中学校16校、及び埼玉県立熊谷特別支援学校に在籍する教職員991名で組織され、34の教科・領域等の研究会で構成されている。

1 本研究会の目的

本研究会は学校教育各般の研究により、会員の資質の向上を図り、熊谷市の学校教育の振興を図ることを目的とする。

2 主な事業

- (1) 研究課題に基づく調査研究活動の実施
- (2) 研究要録・会報の発行
- (3) 研究論文の募集
- (4) 研究会・講演会・実技研修会等の実施
- (5) 音楽会・競技会等の実施
- (6) 各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動の年間指導計画の作成並びに研究推進
- (7) 学習指導研究協議会の実施と助成
- (8) 各学校における各教科等の研究への協力

12. 加須市教育研究会

会長 二 階 堂 朝 光

本研究会は、加須市内の小学校22校、中学校8校、公立幼稚園8園の教職員669名を会員とし、30の研究部で組織されている。

1 本研究会の目的

本研究会は、公立幼稚園・小・中学校の学校教育の振興を図るとともに、相互の連携を密にし、職能の向上を図ることを目的としている。

2 主な事業

- (1) 会員の研修のための講演会、講習会
- (2) 発表会、研修会、視察調査等
- (3) 幼児、児童生徒の発表会、展覧会、競技会等
- (4) 会員や公立幼稚園・小・中学校の研究助成
- (5) 各種教育関係団体、機関との連絡・提携

3 主な事業内容

- (1) 全員協議会(書面)
- (2) 講習会
- (3) 研究発表会(委嘱校発表)
- (4) 陸上競技会、音楽会、各種展覧会及び審査会(硬筆・書きぞめ展、科学展、美術展、発明創意くふう展等)

13. 越谷市教育研究会

会長 青 木 元 秀

本研究会は、小学校29校、中学校15校の計44校、932名の会員が27の部会に所属している。

1 本研究会の目的

本会は、越谷市内小・中学校教育の振興と教職員の資質の向上を図ることを目的とする。

2 主な事業

- (1) 学校教育に関する研究及び調査
- (2) 研究会、発表会、講演会、展覧会、競技会等の開催
- (3) 教育研究に関する助成
- (4) 教育機関及び他団体との連絡提携
- (5) その他、必要な事項

3 主な事業内容

- (1) 役員研究協議会（年3回）
 - (2) 理事・評議員会（年2回）
 - (3) 総会（年1回）
 - (4) 各専門部会（年3～5回）
 - ・授業研究会・講演会・実技研修会
 - ・現地研修会・児童生徒作品展
 - ・英語弁論大会等の企画・運営
- ※ 教員の負担軽減を図りながら、より効果的に研究活動を推進すべく、活動形態の工夫・活動の精選等に取り組んでいる。

14. 三郷市教育研究会

会長 渡 部 順 一

本研究会は、小学校18校、中学校8校の教職員677名を会員とし、26の研究部会で組織されている。

1 本研究会の目的

本研究会は、三郷市立小・中学校教育の振興を図るとともに、会員相互の資質・能力を高めることを目的としている。

2 主な事業

- (1) 教育に関する研究調査
- (2) 研究会・講演会等の開催
- (3) 市内各校及び教育関係機関との連絡提携
- (4) その目的達成に必要な事項

3 主な事業内容

- (1) 定期総会・全員研修会 5月
合同研究協議会を総会に充てる
- (2) 研究協議会 年1～2回
幹事・合同・教科等部長
- (3) 主任研修会 年2回
研究協議会・授業研究会・実技研修会等

(4) 主な主催行事

硬筆・書きぞめ展、科学教育振興展覧会、近隣合同音楽会、発明創意くふう展、中学生英語弁論大会等

15. 蓮田市教育研究会

会長 飯 野 正 章

本研究会は、小学校8校、中学校5校の会員288名、29の教科等研究部で組織されている。

1 本研究会の目的

蓮田市内教職員の職能向上と教育の振興を図り、地域社会の文化の発展に貢献することを目的とする。

2 主な事業

- (1) 講演会・講習会・研究会・発表会・展覧会・体育会などの開催
- (2) 教育に関する調査研究
- (3) 会員の学術文化に関する研究助成
- (4) 社会教育の普及徹底
- (5) 青少年文化活動の研究振興
- (6) PTA及び各種団体との連絡協議

3 主な事業内容

- (1) 理事・部長会
年2回 ①4月23日(水) ②2月24日(火)
- (2) 総会（書面決議）
- (3) 教職員人権教育研修会 8月21日（木）
演題「ケアラーを取り巻く現状と必要な支援について」
講師 日本ケアラー連盟代表理事 堀越 栄子 氏
- (4) 各研究部の研究協議会（各部年3回以内）通年
- (5) 会報（第53号）の発行



事務局だより

令和7年度本部事業計画

令和7年

- 4月1日(火) 各教育研究団体の役員名簿提出依頼
 5月14日(水) 令和6年度本部会計監査会
 6月4日(水) 評議員会
 全体研究協議会
 令和6年度教育研究論文入賞者表彰式
 記念講演 文部科学省初等中等教育局
 学校デジタル化プロジェクトチームサブリダー
 渡辺 洋平 氏
 7月9日(水) 教科等研究団体事務局長等研究協議会
 【オンライン開催】
 7月16日(水) 第2回正副会長会 【オンライン開催】
 9月5日(金) 研究論文応募締め切り
 10月10日(金) 『会報第78号』発行・会員へ配付
 12月9日(火) 編集委員会
 12月12日(金) 『研究集録付研究論文集』原稿執筆依頼

令和8年

- 1月15日(木) 「活動方針と重点・努力点」検討依頼
 ～30日(金) (担当副会長・常任理事・理事)
 2月17日(火) 第3回正副会長会
 2月25日(水) 教育研究団体活動報告書提出
 (日本教育公務員弘済会埼玉支部)
 3月3日(火) 教科等教育研究団体会計監査会
 ～6日(金) (実績報告書・事業計画案検収)
 3月13日(金) 『研究集録付研究論文集』発行・配付
 3月18日(水) 教育研究団体活動報告書提出
 (埼玉県教育委員会)

被表彰

令和7年度「身体障害者福祉のための第67回埼玉県児童生徒美術展覧会」において、埼玉県連合教育研究会会長賞を、次の児童生徒さんが受賞されました。

おめでとうございます。

- 鴻巣市立赤見台第二小学校 第6学年
 てしま かな さん
 手島 加奈 さん
 作品名 『私の一番落ち着く場所』
 ○ 加須市立昭和中学校 第1学年
 かなざわ るか さん
 金澤 琉華 さん
 作品名 『静まりかえった先にあるものは』

令和7年度全国・関東地区教育研究大会後援

- ◆ 全国教育研究発表大会後援 【0団体】
 ・なし
 ◆ 関東地区教育研究発表大会後援 【2団体】
 ・埼玉県理科教育研究会 (小学校)
 10月30日(木)・31日(金)
 RaiBoC Hall (市民会館おみや)
 さいたま市立小学校3校
 ・埼玉県音楽教育連盟
 11月7日(金) 戸田市文化会館 (全体会場)
 公開授業等 各学校

令和8年度全国・関東地区教育研究大会後援予定

- ◆ 全国教育研究発表大会後援 【1団体】
 ・埼玉県美術教育連盟
 ◆ 関東地区教育研究発表大会後援 【2団体】
 ・埼玉県理科教育研究会 (中学校)
 ・埼玉県中学校技術・家庭科教育研究会

『研究集録付研究論文集』原稿執筆研究団体

本会は、年度末の3月に、『研究集録付研究論文集』を発行し、県内全小・中学校、義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校、教育行政機関等へ配付しています。
 原稿執筆については、教科等研究団体及び地域教育研究団体並びに研究論文入賞者等に原稿執筆のご協力をお願いしています。

教科等研究団体には毎年、地域教育研究団体には4年に1度の原稿執筆をお願いしています。

なお、旧教育事務所の秩父地区、児玉地区、大里地区、北埼玉地区には、市町村の合併により、変則的に原稿の執筆を依頼しています。令和7年度は、以下の15地域教育研究団体に原稿執筆をお願いいたします。

会員の皆様には、所属の研究団体はもちろんですが、他の研究団体の研究及び活動内容等についても是非、ご覧いただき、各研究団体の今後の事業の充実を図っていただければと思います。

【本会ホームページでもご覧いただけます。】

埼玉県連合教育研究会URL <https://sairinkyoku.jp>

- | | |
|-----------|--------------|
| ①戸田市教育研究会 | ⑨秩父教育研究会 |
| ②和光市教育研究会 | ⑩児玉郡本庄市教育研究会 |
| ③上尾市教育研究会 | ⑪深谷市教育研究会 |
| ④川越市教育研究会 | ⑫行田市教育研究会 |
| ⑤坂戸市教育研究会 | ⑬久喜市教育研究会 |
| ⑥三芳町教育研究会 | ⑭幸手市教育研究会 |
| ⑦小川町教育研究会 | ⑮杉戸町教育研究会 |
| ⑧菅谷町教育研究会 | |

※12月12日(金)に、原稿執筆依頼文書を発送予定です。
 執筆へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和8年度 研究論文募集要領 (案)

埼玉県連合教育研究会

会員の皆様より、研究論文を下記の要領で募集いたします。何とぞ奮ってご応募ください。

記

1 目 的

日々の教育実践の中から生まれた研究を会員の皆様から募集し、これを広く発表することによって本県教育の振興に資する。

2 募集内容

教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間、外国語活動、進路指導・キャリア教育、視聴覚教育、教育心理・教育相談、特別支援教育、学校図書館教育等の児童生徒に直接かかわる実践的教育研究として、どのように計画し、仮説を立て実践し、さらに、その結果をどのように評価し、今後の教育実践にどう発展させるか等の研究であることとします。

3 応募資格等

応募者は、県内の公立小・中学校、義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校に勤務する教員（会員）であり、研究論文は、個人及びグループの研究（学校としての研究も含む）であることとします。

4 応募規程

原稿の書式は、A4判縦長・横書き、横24字×縦46行×2段組で、パソコン入力（Word・明朝体）により、4～6枚以内（写真、図表を含む）とし、文体は常体（「である」体）を原則とします。

また、研究論文には「表紙」を付け、その上に「応募票」を添付してください。

「表紙」には、①題名 ②勤務校 ③職名 ④氏名（グループ等代表者名）を記入してください。

5 応募票

「応募票」は、ホームページの各種提出書類の「研究論文応募票」からダウンロードしてください。

「応募票」の電子データを希望される方は、以下に記載の電話・E-mailにてお申し出ください。

「応募票」は、「個人研究」・「グループ研究」・「学校研究」別に「表紙」に添付してください。

6 応募上の留意点

- (1) 応募は、1人・1グループ・1学校1編とします。
- (2) 研究論文は、誌上未発表のものに限ります。
- (3) 「応募票」の『確約事項』2点の順守をお願いします。
- (4) 応募原稿は、返却しませんので、あらかじめご了承ください。
- (5) 本会ホームページ上の「よりよい論文とするために」を参考にしてください。

7 原稿等の提出

令和8年9月4日（金） 必着

「応募票」及び論文原稿等の提出は、以下に記載の事務局へ電子メールでの送信をお願いします。

8 審査結果

審査結果は、令和8年12月中旬に、各応募者宛に書面にて通知します。

9 表彰等

最優秀賞・入選・佳作等に選ばれた研究論文は、令和8年度『研究集録付研究論文集』及びホームページへの掲載を行い、入賞者には、本会評議員会（総会）後の入賞者表彰式にて表彰を行います。

なお、研究資料費として入選論文には7万円（最優秀賞は10万円）、佳作論文には5万円、選外の応募者にも薄謝を進呈します。

また、教職経験10年未満の方を対象に新人奨励賞（3万円）を設けています。

10 審査員

本部役員及び編集委員

11 提出・問い合わせ先

〒330-0804 さいたま市大宮区堀の内町1-99 さいたま市立大宮東中学校内

埼玉県連合教育研究会事務局

TEL 080-1157-5347 FAX 048-645-1922

E-mail saitamakenrengoukyouiku@jcom.home.ne.jp

ホームページURL <https://sairinkyoku.jp/>



ホームページ
QRコード